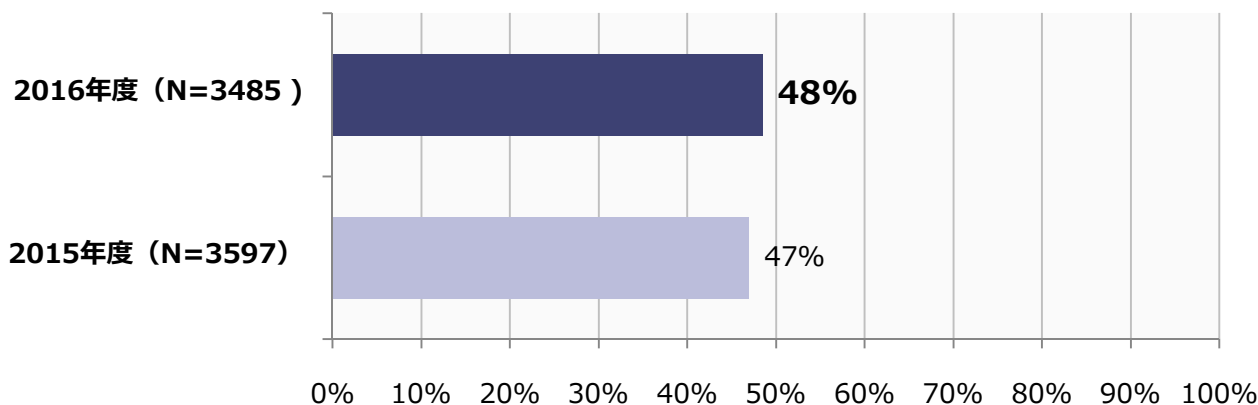


手術時間が予定より延長した患者の割合

予定手術の主術前に申告された予定時間と実際の所用時間を比較して、手術室が効率的に運用されているかを検討します。

ハード面・ソフト面ともに制約のある当院においては、手術室を効率的に運用することにより、手術件数増加・コスト削減が期待でき、病院経営上有益です。

また、適切な手術時間は手術を受ける患者さんにとって、術後感染症や合併症防止につながります。



当院値の定義・算出方法

分子： 手術時間が申告時間を超過した予定手術症例数 $\times 100$ (%)

分母： 手術時間が申告されている予定手術症例数

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

結果の考察および今後の取り組みについて

予定時間を超過した症例は48%で、去年度の47%とほとんど変化がみられませんでした。

手術の難易度・高度化、教育などの多岐にわたる要因によるものと思われます。

改善には困難が伴うと思われるが、毎週行われる手術部編成会議や手術部運営会議などで、各科に協力を呼びかけるとともに、麻酔手技の見直し、手術部看護師の手術マニュアル見直し等を行い、円滑に手術が施行できる体制作りをしていきたいと考えております。

文責：麻酔科主任部長
吉村 速